

島根更生保護施設だより



しらふじ

第81号

平成28年2月29日
発行/更生保護法人
しらふじ
発行責任者/吉長義親
編集責任者/青木壯文



「題号は?内容は?」と打ち合わせを重ねる編集委員
(しらふじ集會室)

今後の更生保護の在り方は、社会内処遇の更なる進
展で早期出所が見込まれ、しらふじの必要性、重要性
はますます高まって行くものと思われます。かの石川
五右衛門は釜茹での刑を前にして「浜の真砂は尽きる
とも、世に盗人の種は尽きまじ」と言ったそうです。
そうして見れば、しらふじのような更生保護施設は今
後五十年、百年と永遠に必要なこととなります。
鉄血宰相と異名を取ったドイツのビスマルクは「愚



編集委員長

大野 美雄

百年誌発刊を終えて

「全ての方々に感謝」

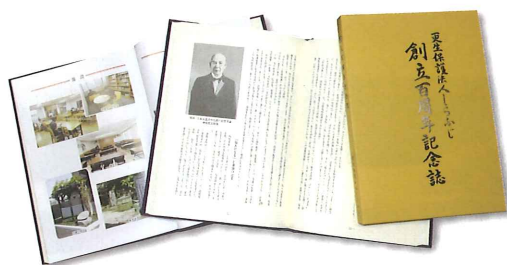
念願だった「創立百周年記念誌」がついに出来上
がりました。それこそ百年に一度の「快挙」であり、
81号は記念誌中心の構成にしました。積んでおくだ
けでなく、皆さんに読んでいただき、関係者の熱い
思いを知っていただきたいためにー。

者は経験に学び、賢者は歴史に学ぶ」と言いました。しらふじの将来を図る時、どうしても歴史を詳らかにしておかねばなりません。

「百年誌を発刊するんだ」との福田和夫前理事長の熱い思いを受けて、編集委員会が立ち上がりました。実際に取り掛かってみると、過去において記録が纏められておらず、しかも長い間に諸資料が散逸してしまい、編集作業を進めて行く中で困難であったことは否めません。

しかしながら、六回の編集委員会の都度、経験豊富な編集委員の皆様を支えていただき、また、職員の方には通常の業務がありながらも資料探しなどに尽力いただきました。そして、プロとして常に適切なアドバイスをくださいました報光社営業主任の梶谷敦子様等々の総合力で何とか発刊することが出来ました。

出来上がった百年誌を手にした時、しらふじの歴史的事業に些かでも関わらせていただいた喜びが込み上げてまいりました。この百年誌がしらふじの今後の運営に役立つことを願って止みません。お世話になりましたすべての皆様に衷心より厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。



約40人の関係者が祝った百年誌発刊記念祝賀会 (27年11月20日、松江市殿町のサンラポーむらくも)



百年誌発刊を記念した講演とパーティが二十七年十一月二十日、松江市殿町のサンラポーむらくもでありました。光岡英司・松江刑務所長や吉田里日・松江少年鑑別所長ら来賓、関係者など約四十人が出席。まず、山田勘一・中国地方更生保護施設連盟会長が「津森百太郎翁のことども」と題して記念講演。知られざるエピソードなどを交えて島根更生保護の歴史を振り返るとともに、今後の在り方を熱く語られました。

パーティーは佐々木滋子・副理事長の進行で開会。吉長義親・理事長のあいさつ、大野美雄・副理事長（百年誌編集委員長）の経過報告、来賓あいさつの後、開宴し、バイオリンとピアノ演奏が流れる中、歓談は尽きませんでした。

記念講演

演題

「津森百太郎翁のことども」



中国地方

更生保護施設連盟会長

山田 勘一氏

私どもが敬慕してやまない津森百太郎翁ですが、わが国免囚保護の成立史から見ると、翁が島根授産会保護主任として馳せ参じる一九一一（明治四十四）年は静岡勸善会創立から三十年後のことです。作家・大江健三郎の出世作に倣っていえば、『遅れてきた青年』といえましょう。

翁はその後三十年間、免囚・司法と保護事業に心血を注ぎ、一九四一（昭和十六）年四月に亡くなりますが、その二年前、司法保護事業法の施行によって島根更生保護会は消滅するという、制度の転換期に際会しました。収容保護事業は松江保護会へ引き継がれ、翁は連絡助成事業を専らとする島根県聯合保護

会主事として県内保護の組織づくりに奔走しました。それは「愚存によれば、…保護主任は被保護者と寝食を共にし、一家の主人が子弟を教養すると同様なる方法、即ち家族組織にあらざれば到底奏功せざるべし」（翁書翰）という人間津森百太郎の志と齟齬はなかつたか、ひそかに忖度するのです。

島根の直接保護事業は、翁の死とともに深い眠りに入ります。それが名実ともに目覚めるのは一九五四（昭和二十九）年七月、実に十三年振りのことでした。民間から初めて初代会長として野津乙三郎氏が就任され、以後安来美登、宋寂照、景山一郎、佐々木正道、景山一彦、福田和夫、そして吉長義親現理事長へ、今日の「しらふじ」へと引き継がれた、六十二年の歴史でした。それはまた、その五十年近くを、安来会長をはじめ代々の理事長さんと遠く近く、また直接にご縁を育んだ私の歴史でもありました。あらためてそのありがたさを感じています。

記念誌内容

創立百周年記念誌発刊によせて…………… 19

更生保護法人しらふじ 理事長…………… 吉長 義親

法務省保護局長…………… 片岡 弘

全国更生保護法人連盟 理事長…………… 坂井 文雄

中国地方更生保護委員会 委員長…………… 久保 貴

中国地方更生保護施設連盟 会長…………… 山田 勘一

松江地方検察庁 検事正…………… 奥村 淳一

島根県知事…………… 溝口善兵衛

松江市長…………… 松浦 正敬

松江刑務所長…………… 光岡 英司

松江保護観察所長…………… 國府 実

更生保護法人島根保護観察協会 理事長…………… 古瀬 誠

島根県保護司会連合会 会長…………… 坂本 圭祥

島根県更生保護女性連盟 会長…………… 鐘築 章恵

松江地区保護司会 会長…………… 舟越 憲雄

松江地区更生保護女性会 会長…………… 青木 薫代

西原町内会 会長…………… 田中 廣

年譜で見る百年のあゆみ…………… 37

津森百太郎伝…………… 49

創立百周年記念座談会…………… 61

施設の全面改築を終えて…………… 83

施設名「しらふじ」の由来…………… 93

「春台井戸」の由来…………… 103

しらふじの現況…………… 107

資料…………… 135

大きな反響に ビックリポン

素晴らしい編集内容に驚嘆するばかりです。編集に携われた方々のご努力に敬意を表し、当会においても参考にさせていただき、会の充実を図っていきたく思っております。

甲府市、
更生保護法人「山梨以徳会」様

編集の方々のご苦勞が紙面からしのばれました。素晴らしい構成とただただ感嘆しております。立派な編集を当会の冊子編集の参考にさせていただきます。

宇都宮市、
更生保護法人「尚徳有隣会」様

創立百周年記念誌を贈った他県の更生保護施設や関係者から、うれしい一言をしたためたお礼の手紙やはがきが届きました。その一部を紹介します。



お一人お一人の書かれた文を読み進めるうちに、人々への深い愛の心があること、そして、その愛が(根を)張っていることを知ることができました。津森百太郎氏の心を知り、それを受け継ぐ心の人々がいて、なかなか理解できない地域や周りの人たちをも少しずつ引き込んで、罪を犯した人々の心を理解し、支え、再生へと導く。親心、愛の心があってできることだと思いました。感動して読み進めています。

松江市、M様

当施設にとっては、誠にまぶしく、うらやましい限りであります。いずれは、しらふじ様のような記念誌が発行できるよう「当面の目標」として仰ぎ、追従していきたく思っています。

岐阜市、更生保護法人「洗心之家」様

利用者の投稿

保護観察を終えて ～地域に貢献します～

昨年5月に「しらふじ」に入り、社会復帰を目指してハローワークに通いましたが、なかなか面接までたどり着けませんでした。しかし、施設の紹介で松江市内のホテルで働くことができ、同時に職業訓練も始まり、学校へ行きながら働くという二重生活を送りました。1カ月間1日も休みがないこともありましたが、無事に終わり、介護士の資格を取って施設への就職がかないました。

生活でも規則を守って真面目に暮らし、10月24日に晴れて満期日を迎えることができました。これからは地域に貢献できるよう頑張ります。(Mさん)

しらふじバザー ～お客とのつながり大事～

2人で刑務所製品売り場を担当しました。初めて見た製品はどれも上手に作られており驚きました。来た人たちが「しらふじ」を応援してくれたり、バザーで周りの人の目が少しでも変わっていくことが一番だと思えます。

お客さんとのつながりが大切なこと、生半可な対応ではいけないことなど、バザーで多くのことを感じ、学びました。とてもいい経験でした。(Gさん)



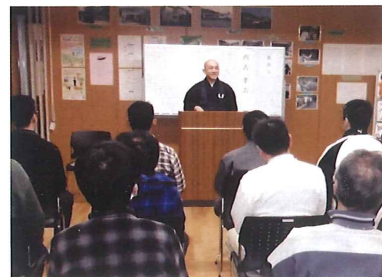
ハゼ釣り大会 ～釣ったハゼの味は最高～

初めての経験で、釣りを始めてものの5分で針を引っかけて竿(さお)を折ってしまいました。交換してもらった竿で3位の結果となり、自分でもビックリ。何事もやってみなければ分からないもので、思いのほか楽しむことができました。釣ったハゼがその日の夕食のおかずに出ましたが、自分たちが釣ったハゼが特に「オイシー」(Iさん)

法話の会 ～普通の話でホッ!?～

法話を聞いたことがないのでドキドキしていましたが、お経ではなく普通の話で安心したというのが本音です。ある意味新鮮で勉強になりました。

人の喜びを自分の喜びとして人のためになることをする喜心、相手を思いやり、いたわる心を持つ老心、海や山のようにゆったりとした、えり好みをしない公平さを持つ大心の3つの心の話はなるほどと納得しました。これからも3つの心を忘れずに日々向き合っていきたいと思えます。(IさんとAさんの文をまとめました)



来所者

平成27年7月1日
同年12月31日
〔敬称略〕

- ◆ 松江地区更生保護女性会新人会員研修 11名
- ◆ 鹿島地区更生保護女性会 23名
- ◆ 松江北高生施設見学研修 5名
- ◆ 香川県西讃教育支援ネットワーク 30名
- ◆ 立教大学小長井教授（元利用者面接）
- ◆ 隠岐の島更生保護女性会 6名
- ◆ 松江地区更生保護女性会古志原支部奉仕作業 5名
- ◆ 鳥取県更生保護女性会 40名
- ◆ 八束地区更生保護女性会 3名
- ◆ 出雲地区保護司会 3名
- ◆ 讃岐修斉会連絡協議会 29名
- ◆ 玉湯町更生保護女性会 3名
- ◆ 司法修習生視察研修 8名
- ◆ 大社地区更生保護女性会 7名
- ◆ 伊波野地区同和教育推進協議会委員視察 9名
- ◆ 益田地区更生保護女性会視察 15名
- ◆ 松江地区更生保護女性会乃木支部奉仕作業 5名
- ◆ 平田地区更生保護女性会伊野支部 5名
- ◆ 平田地区更生保護女性会平田支部 12名
- ◆ 山口更生保護会視察 2名
- ◆ 邑智地区更生保護女性会邑南支部 2名
- ◆ 広島矯正管区長視察 4名
- ◆ 八束地区更生保護女性会 10名
- ◆ 鹿島地区更生保護女性会
- ◆ 桐岳寺
- ◆ 隠岐の島地区更生保護女性会
- ◆ 松江地区更生保護女性会古志原支部
- ◆ 東出雲地区更生保護女性会

寄付金

平成27年7月1日
同年12月31日
〔敬称略受付順〕

- ◆ 松江地区更生保護女性会乃木支部
- ◆ 八束地区更生保護女性会
- ◆ 丸亀鍛冶屋自治会
- ◆ 玉湯地区更生保護女性会
- ◆ 平田地区更生保護女性会
- ◆ 出雲地区更生保護女性会
- ◆ 伯太地区更生保護女性会
- ◆ 益田地区更生保護女性会
- ◆ 平田地区更生保護女性会平田支部
- ◆ 八雲地区更生保護女性会
- ◆ 宍道地区更生保護女性会
- ◆ 島根県更生保護女性連盟（愛の図書）
- ◆ 松江湖城ライオンズクラブ
- ◆ 八束地区更生保護女性会
- ◆ 匿名4名
- ◆ 東出雲地区更生保護女性会／衣類
- ◆ 鹿島地区更生保護女性会／タオル等日用品
- ◆ 松本 成／衣類
- ◆ 渡部 良子／本多数
- ◆ 矢野 喜郎／野菜
- ◆ 邑智地区更生保護女性会川本支部／衣類、野菜、靴、洗剤
- ◆ 吉野 光徳／野菜
- ◆ 恩田 祥雄／野菜
- ◆ 三代 由紀子／衣類
- ◆ 江淵 悠紀／自転車
- ◆ 三島 島三／自転車
- ◆ 大社地区更生保護女性会大社支部／衣類、洗剤、タオルほか
- ◆ 司法修習生／自転車、家電製品ほか
- ◆ 平田地区更生保護女性会／衣類、洗剤ほか

寄付品

平成27年7月1日
同年12月31日
〔敬称略受付順〕

受彰者

*全国更生保護法人連盟

理事長表彰

福留 暢哉 監事

河野ヒロ子 調理員

*中国地方更生保護委員長表彰

浅野 俊雄 理事

松本 英史 理事

山本 寿子 評議員

- ◆ 出雲地区保護司会／支援物資
- ◆ 石川 咲子／洗剤
- ◆ 山口 美代子／お菓子
- ◆ 林田 宣子／衣類
- ◆ 益田地区更生保護女性会／タオル、洗剤ほか
- ◆ 福井 邦昭／お米
- ◆ 森口 順子／お米
- ◆ 三谷 サエ子／衣類
- ◆ 古藤 美紀／野菜、柿
- ◆ 平田地区更生保護女性会平田支部／洗剤、タオルほか
- ◆ 八雲地区更生保護女性会／衣類
- ◆ 飯石地区更生保護女性会／支援物資
- ◆ 島根県更生保護女性連盟／クリスマスプレゼント（下着、お菓子）
- ◆ 松江湖城ライオンズクラブ／支援物資
- ◆ 石倉 茂美／もち米
- ◆ 須田 秀子／衣類
- ◆ フードバンク安来／お米
- ◆ 西尾 聡／食品、衣類

編集後記

京都刑務所長のYさんから手紙が届きました。Yさんの前任地は松江。呑（の）み助の会に誘ったところ、下戸にもかかわらず笑顔で受け込み、たちまち意気投合。以来、メンバーとの親交が続いています。

そのYさんからの手紙。内容は「矯正最後の年に、全国矯正施設職員親善ハレーボール大会を松江市で開きたい」というものでした。松江を選んだ理由として、松江刑務所に大会を举行できるパワーがあること。次に、初めての松江での勤務や生活に不安を抱いていたが、松江の人に温かく接してもらい、その縁を生大事にしたい、との思い。そして、最後にこうしたためてありました。「しんじりとしたたすまじや礼節的できつちりしているところなど、日本人の心の原点となるところが松江にはたくさん残っており、その感覚が犯罪者の改善更生を目指す者にとって極めて有効な気がします。それを矯正職員メンバーに知ってもらいたいです」

読むうちに胸が熱くなりました。大会は十月十九、二十日。約三百人が参加するそうです。「協力はもちろん、参加者にぜひしらふじを見ていただきたい」と吉長理事長。しらふじ全国デビューといえますか。

（塚）

施設の運営にご協力をお願い

会員の募集

施設や事業の充実のために物品や資金が必要で
す。そのためご寄贈をお願いし、会員・賛助会員を
募集しています。会員と年会費は下記のとおりです。

- 賛助会員 2,000円以上
- 普通会員 5,000円以上
- 特別会員 10,000円以上
- 法人会員 20,000円以上

入金および 寄付金振込先 ゆうちょ銀行(口座番号) 01450-1-30366
加入者名 更生保護法人しらふじ

詳しいことは、下記までおたずねください。
更生保護法人しらふじ 松江市奥谷町306-1
TEL 0852-21-5383 FAX 0852-67-5393
メールアドレス: shimanekouseihogokai@sage.ocn.ne.jp
H P アドレス: http://www.web-sanin.co.jp/hogokai/

しらふじ 検索 でも検索できます。

写真アラカルト



そば打ち体験会 (12月13日)



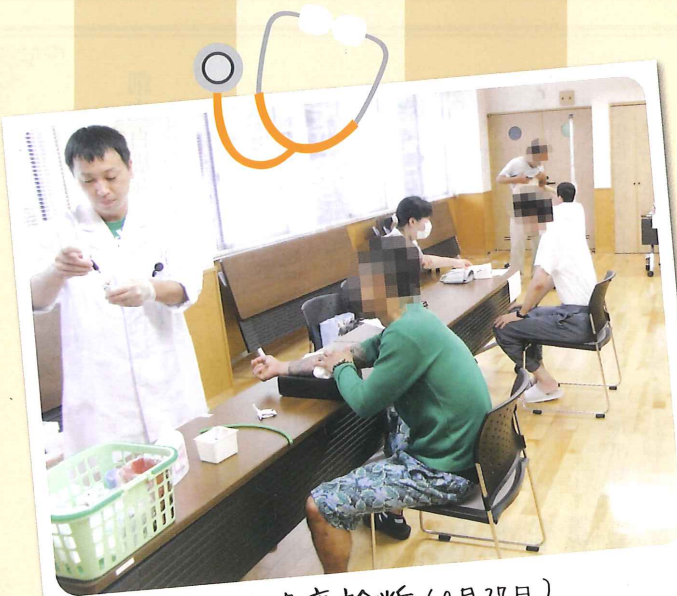
お月見会 (9月13日)



月1度のコラージュ作成会



防火訓練 (9月23日)



無料健康診断 (9月27日)



クリスマス会 (12月19日)

